



医療
法人

中津第一病院



2024

医師募集概要

Recruit information
for doctors

思いやりを真ん中に。

人、地域に根ざした医療を。

当院は昭和50年に「全国初の高齢者に特化した病院」として開設し、内科診療をスタートしました。

その後泌尿器科、リハビリテーション科、人工透析、外科と診療領域を広げてまいりました。

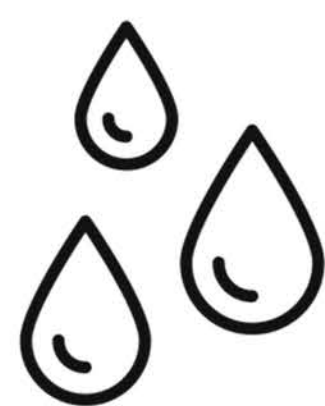
今後はさらに在宅医療の展開も準備しております。

「地域に根差し、人に寄り添う病院」として
「思いやりを真ん中に」を胸に、

地域医療に貢献していけるよう努めて参ります。



診療科目



泌尿器科



内科



外科



リハビリテーション科

当院の泌尿器科について

泌尿器科診療実績は大分県の北部二次医療圏トップクラスです。
当院の泌尿器科では平成22年11月よりLRP（腹腔鏡下前立腺全摘除術）の保険診療が始まりました。LRPは従来の術式よりも術後の回復が早い・出血が少ないなどの特徴があります。また平成3年に体外衝撃波結石破碎術（ESWL）、平成20年12月より県内で2ヶ所目となるレーザーを用いた経尿道的尿路結石除去術（f-TUL）を行っており、質の高い治療を提供して多数の手術実績を誇っています。腹腔鏡下仙骨脛固定術（LSC）においては、大分県最初の届出病院として現在症例数は200例を超えています。

大学医局とのつながりを活かし、県北地域の泌尿器科診療を担い手として、より一層医療の質向上に努めています。



「一般・地域包括ケア病棟（急性期・回復期）」 「療養病棟（慢性期）」の2つの病棟にて対応しています。

急性期治療ならびに亜急性期症状の患者さまの受入れ、リハビリ目的や、糖尿病・腎臓病の教育入院、レスパイト目的（※）の入院、など多種多様なニーズにこたえる一般・地ケア病床と長期的に加療を必要とする慢性期と対応しております。

在宅事業部

当院は泌尿器科を専門にしているため、訪問看護においても、看護師がカテーテルやステント、ストーマに柔軟に対応できます。
病院と連携して褥瘡ケア、フットケアに力を入れていることも評価を頂いており、バックベッドがあることも信頼につながっているため、今後はより一層在宅医療に展開する準備を進めています。



運営責任者兼採用担当者インタビュー



全国初の老人病院として開設。人、地域に根ざした医療を目指して

中津第一病院は1975年に「全国初の老人病院」として、江口雄一郎初代院長により開設されました。時代に合わせて介護療養病床や介護医療院へと制度は移行していきましたが、その先駆けとなったのが当院です。将来の高齢社会を見据え、地域に必要とされる医療を提供したいという初代院長の熱意が国や省庁を巻き込んで、ここ大分県中津市で実現しました。

当院の大きな特徴は、「内科・泌尿器科」を専門としていることです。開院当初は、「老年内科」診療を主に行っていましたが、次第に高齢者医療における泌尿器科の重要性を感じるようになり、周辺に泌尿器科を専門とする病院がなかったことから、「内科・泌尿器科」を当院の柱としました。現在では年間600～800例のオペを行っており、地域の泌尿器科オペの約7割を占めています。診療領域をリハビリテーション科、人工透析、外科にも広げて、地域に根ざした医療を提供しています。人工透析は、45床の透析ベッドで、150人を超える患者さんを診察しています。現在は病院の変遷に伴い、高齢者の患者さんはもちろん、様々な年齢層の患者さんが受診されています。

今後も医療需要が見込める中津市

中津市は大分県で3番目に大きな街です。人口は8万人ほどですが、企業誘致や移住促進施策が功を奏して人口規模を安定的に維持しており、出生率も1.76と日本の出生率が1.3を下回る状況と比較して高い水準にあります。二次医療圏で見れば将来的な医療需要は減少傾向にありますが、当院はあらゆる泌尿器科のオペに対応できる専門病院として二次医療圏全域から患者さんが来られていますので、継続した医療需要を見込んでいます。

しかしながら、求められる役割は変遷しています。中津周辺の民間病院の多くは当院と同時期に開設され、当時はそれぞれが急性期医療を担っていました。それが今では急性期・回復期・慢性期のケアミックス型病院としての機能に移り、市民病院が急性期医療の中核を担っています。そして高齢化が進む中、地域のベッド数は過剰気味であり、在宅医療・介護のニーズが高まっています。

2023年には地域のニーズを受けて、訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所を開設し、連動して病院からのみなし訪問リハビリを開始してセラピストが在宅でのリハビリを行っています。地域のニーズが高いため、いずれもすでに満員状態ですので、今後は定期的訪問診療だけでなく、在宅医療にも領域を広げていくことを検討しています。



構想実現に向け、医師採用を強化

現在、当院では構想の実現に向けて、医師採用を強化しています。院内には在宅医療を希望する先生もいらっしゃいますが、病棟の患者さんを「診てくださる」医師が不足してしまうため、病棟運営にお力添えいただける先生を必要としています。

ここ10年は紹介会社を利用していなかったこともあり、主な入職経路は関連医局と知人紹介ですが、紹介会社経由の先生も在籍されています。

当院の課題は、病床の稼働です。地域のニーズはあるので、病棟運営に積極的に取り組んで、自分事として積極的に習慣に取り組み、スタッフに背中を見せていただける先生に来ていただきたいです。現在、病棟を担当してくださる先生の負担を減らし、より多くの患者さんを受けることができれば、地域医療に貢献できます。先生方が医療に集中できる環境を整えるために、本部が稼働の管理や、在宅医療の推進、病院とのスムーズな連携といったガバナンスを統括して行える体制を整えていきたいと思っています。

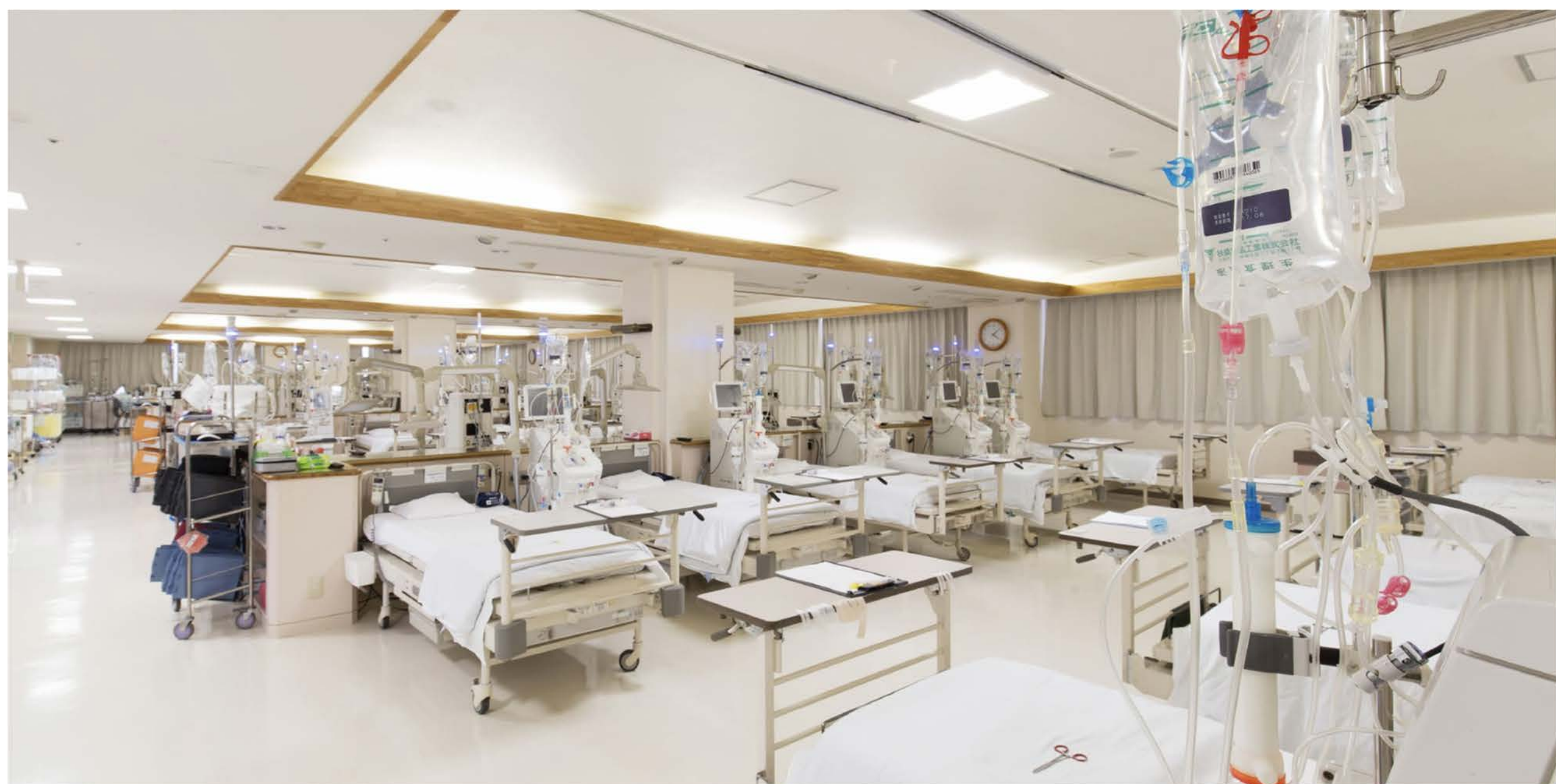
運営責任者兼採用担当者インタビュー

3つの医局があるからこそ、しがらみがない職場

当院の職場環境の特徴のひとつには、関連医局が複数あることが挙げられます。泌尿器科は、40年前の診療科目立ち上げ当時の医師の恩師が広島大学教授に就任されたご縁から、広島大学の実習病院となっています。高度急性期である大学病院では診られない泌尿器疾患を学べる民間病院として、関係が続いています。また透析を行う中では、大分大学医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座より腎臓内科の先生を派遣を頂いています。外科と病理部門は理事長が肝胆膵外科教授として在籍している久留米大学から派遣を頂いています。

関連医局が複数あることを心配される先生もいらっしゃると思いますが、当院の魅力は何といっても人間関係の良さです。3つの医局があるからこそ、どの先生も「この医局じゃないと」というようなしがらみがなく、所属のない先生も含めて非常に良い関係性を保っています。

そのため、科を越えた連携も活発です。たとえば、泌尿器科の先生はオペの適用になるまで内科の先生に糖尿病のコントロールや心エコー・心電図を依頼し連携を図っています。他にも、血管外科の先生は、腎臓内科の先生と透析の内シャント造設術やPTAを行っています。決してなれ合うような関係性ではありませんが、お互いを尊重し、助け合いながら勤務しています。



採用時に重視するのは、思いやりの心

当院の先生方は皆、本当に優しく、一生懸命に取り組まれる方ばかりです。上に立つ理事長や院長も優しく穏やかで、「この穏やかさが良い」とおっしゃってくれる先生が入職されています。私たちは意識的に、優しく思いやりのある方を採用しています。医局派遣の先生においても、医局と密にコミュニケーションを取って、当院の風土に合った先生を派遣いただいています。

患者さんが求めているものは、医療技術だけではありません。もちろん泌尿器科においては大学病院レベルの高度な技術を有していますが、患者さんにはどれほど技術が高いのか正確にはよく分かりませんし、手術は成功するものだという認識が前提にあるため、あまり印象に残りません。ですが、先生やスタッフが病床によく来てくれた、優しい言葉をかけてくれた、といった印象の部分はよく覚えているものです。その印象が何より重要なのです。技術は後からでも向上することができますが、パーソナリティは変えられません。ですから、「思いやりを真ん中に」の当院の理念に合った、優しく和を大切にできる方に来てほしいと願っています。

条件面や立地面でも、魅力的な環境

このように職場の人間関係が良く、細やかに医師のフォローができるスタッフも揃っているため、当院ではとにかく先生方がお辞めになりません。個々のご希望に応じた条件の検討や社宅もこだわりの新築物件を用意するなど、満足いただける環境の整備にも務めています。

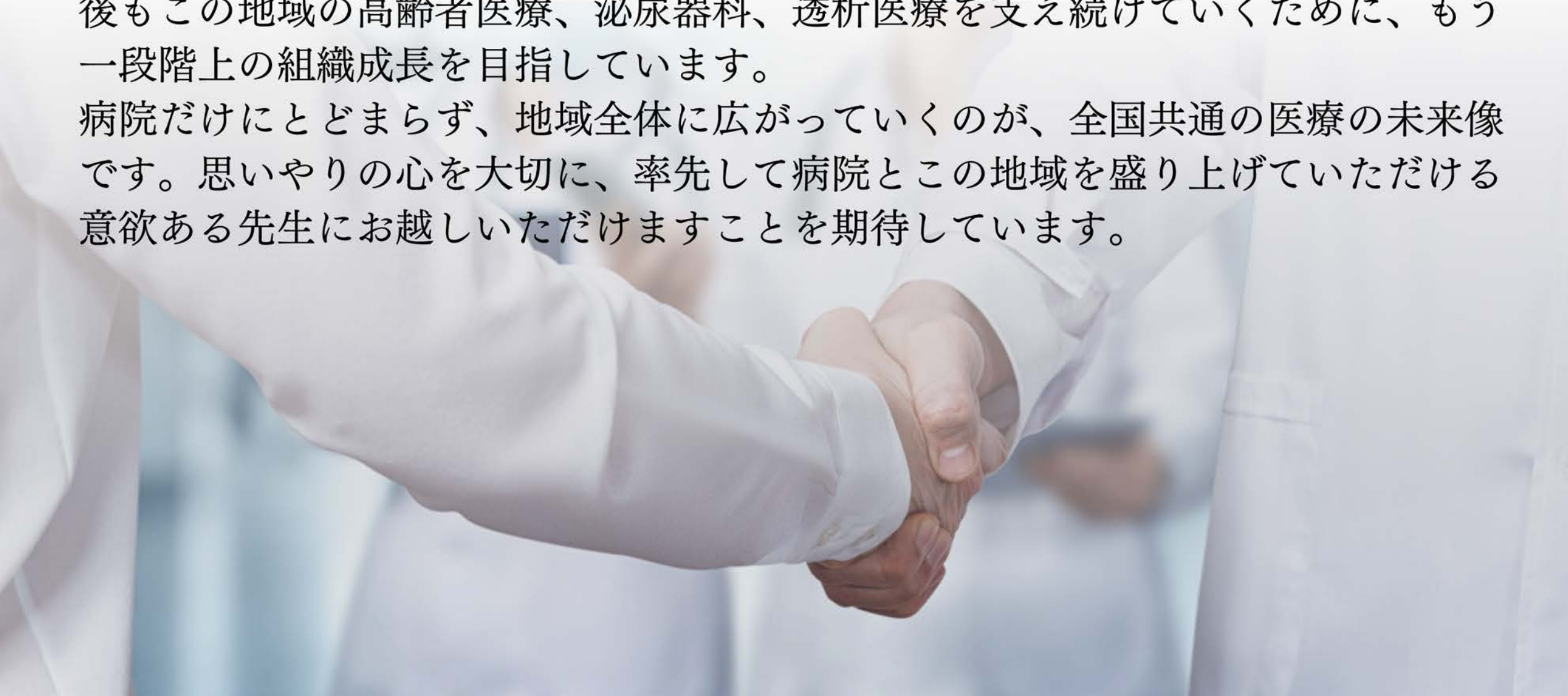
また中津市は、交通利便性が意外と良いという面があります。北九州市も通勤圏内で、九州新幹線の小倉駅までは特急で30分、東九州自動車道を利用すれば車でも1時間でアクセスが可能です。22時まで東京便が発着する北九州空港は車で45分ですので、単身赴任でいらっしゃるにも便利な場所に位置しています。近隣の先生だけでなく、幅広い地域の先生にご検討いただきたいと思います。

開院50周年を迎え、もう一段階のアップデートを

当院は職員がまとまった組織の強さがある一方で、個別の力はあまり強くありません。チームとして機能していくため、そのチームを職員を活かしてくれる医師を求めています。

数字上の目標や、医療上の課題、カンファレンスでコメディカルを指導してくれるような牽引力を持ったドクターを求めています。病床稼働向上のため、積極的に患者さんを受け入れ、チームを引っ張ってくれる先生を求めています。2025年3月で当院は開院50周年を迎えます。病院の建て替えも検討しており、今後もこの地域の高齢者医療、泌尿器科、透析医療を支え続けていくために、もう一段階上の組織成長を目指しています。

病院だけにとどまらず、地域全体に広がっていくのが、全国共通の医療の未来像です。思いやりの心を大切に、率先して病院とこの地域を盛り上げていただける意欲ある先生にお越しいただけますことを期待しています。



募集要項

泌尿器科診療実績は大分県の北部二次医療圏
トップクラス!!

地域医療、特に在宅医療へ更に力を入れてい
く予定です。



意識の高いチームと共に高め合っていきませんか？

【求人条件(全科共通)】

- 募集科目 : 腎臓内科、一般内科、麻酔科
- 勤務日数 : 麻酔科 週3日でOK
腎臓内科 週4～5日
内科 週5日 ただし専門性の高い場合週4日も相談可能
- 勤務時間 : 月～金 9:00～17:00
- 休憩時間 : 60分
- 当直回数 : 月2～3回※麻酔科はなし 内科系医師当直なし相談可能
- 当直体制 : 宿直 医師1名※救急告示病院ではない。
木金土は久留米大学医師にて対応。
日～水のみ宿直（寝当直）
今後常勤が当直をしない方針を取っていく予定
- 基本給与 : 1,500万円～2,200万 ※ご経験・実績に応じて相談可能
麻酔科は週3日1,000万円～
- 当直手当 : 別途支給 平日3万円※ほぼ管理当直
- オンコール : 各科なし 夜間対応：当直医 死亡時も当直医による見送り
※オンコール呼び出しはないが、患者の状況把握のため
主治医に電話は鳴らします。

【福利厚生・支援制度(全科共通)】

契約期間	： 期間の定めなし
休日	： 週休2日
休暇	： 夏季休暇 （連続1週間を夏季休暇として使用※夏季でなくても可能） 年末年始休暇（12/31～1/4） 有給休暇（法定通り、1週間連続休暇取得可能）
退職金	： なし
各種保険	： 健康保険 厚生年金 雇用保険 労災保険 医師賠償責任保険 ※麻酔科週3日でも社会保険加入可能
赴任手当	： 規定あり※単身、家族により変動あり 往路のみ
住宅手当	： 家賃80%補助
通勤手当	： あり 上限2万6千円（月額） 最寄駅からのタクシー利用可 高速通勤可（ETCカード貸与等）
扶養手当	： 家族手当 配偶者 子女
時間外手当	： 固定残業手当として支給
学会参加	： 規定により補助あり
賞与	： なし（年俸制の支払い方は応相談 14分割等）
昇給	： 面談による
育児支援	： 応相談 （前例無し：子育てのある女医さん並びに育休取得の医師なし）
駐車場	： 無料
大学医局	： 泌尿器科（広島大学）腎臓内科（大分大学） 外科・病理（久留米大学）
定年制度	： なし
試用期間	： 3ヶ月（試用期間中の労働条件変更：なし）
時間外勤務	： 科により差があり。腎臓内科は固定残業制（透析クールにより）
固定残業代	： 月時間分 含む。
給与÷支払日	： 当月10日締め、当月28日払い
受動喫煙対策	： あり（屋内禁煙）屋外の指定場所でのみ喫煙可
自己都合退職の申告期間	： 6ヶ月前までに申し出ること

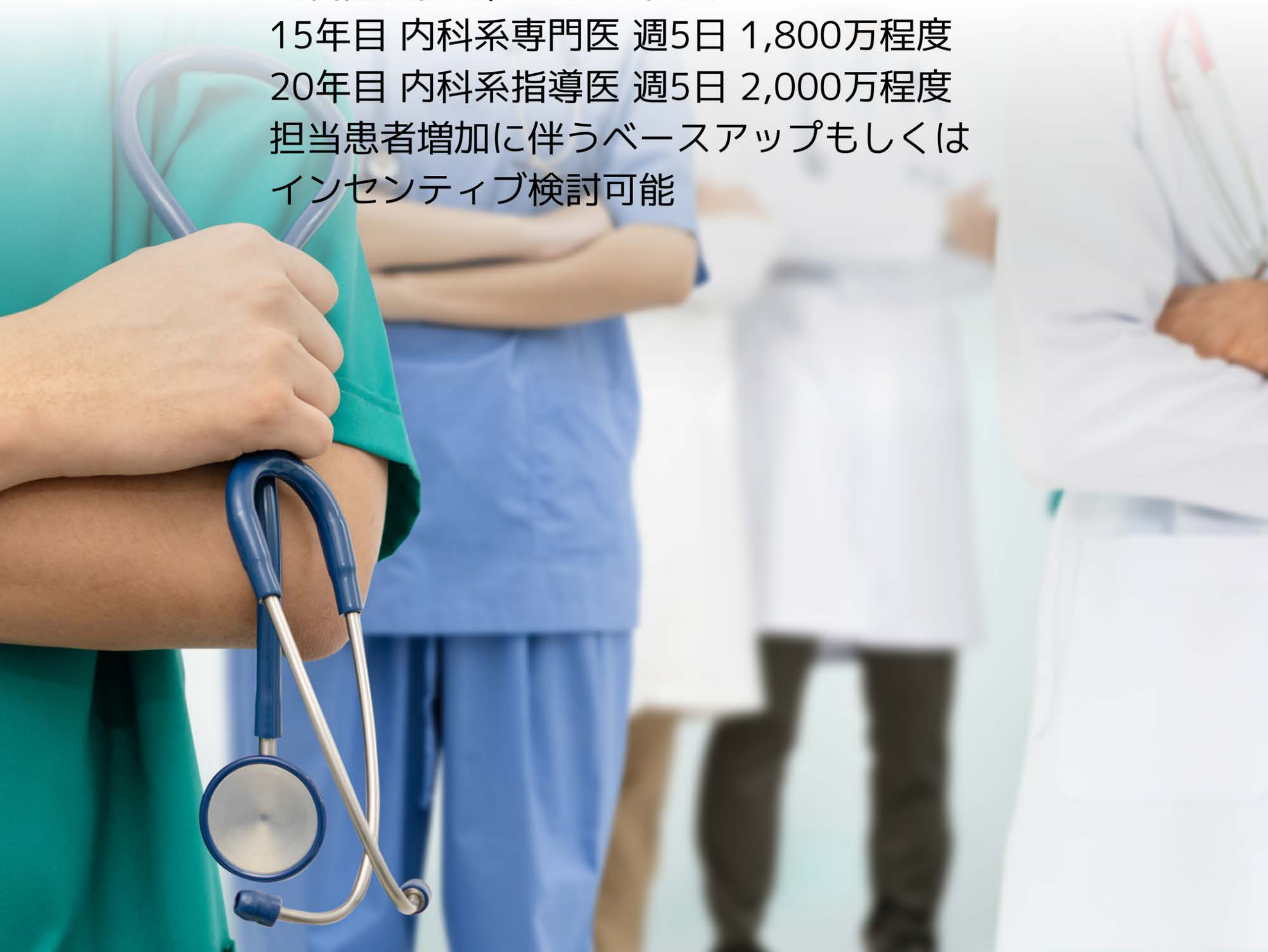
募集要項

▼腎臓内科

- 勤務開始 : 随時
- 募集背景 : 腎臓内科診療体制の強化 常時3名体制を整えるため
- 募集科目 : 腎臓内科（腎臓内科専門医 または 透析学会専門医必須）
- 勤務時間 : 月～土 9:00～17:00
月～土のうち週5日勤務
- 休憩時間 : 60分
- 休日 : 週休2日
- オンコール : 原則なし※当直医からの問い合わせの可能性はあり
- 当直 : 月2～3回 なしも相談可能
- 勤務内容 : 外来
担当コマ数 : 週2～3コマ程度※予定 人員増えれば減少見込み
外来患者数 : 10名程度/コマ
診療体制 : 1診体制※他科外来はあり
主な疾患 : 腎不全、腎臓障害等
- 病棟管理
担当病棟 : 一般、地ケア、療養等
担当患者数 : 12名程度
担当制 : 主治医制
- 透析管理
透析患者数 : 約150名（入院・外来含む）
透析内容 : 血液透析
クール : 2クール（日勤のみ ○○時程度まで）
透析曜日 : 月～土
その他 : シェント増設もしくはシェントPTA経験の経験問わず
（血管外科医による指導も受けられます）
- 基本給与 : 1,500万円～2,200万円
※週5日勤務の場合 週4日の場合変動あり
- モデル年収
15年目 腎臓内科or透析専門医 週5日 1,800万程度
20年目 腎臓内科or透析指導医 週5日 2,000万程度
最大2,200万まで検討可能

▼一般内科 ※全身管理できれば科目不問

- 勤務開始 : 随時
- 募集背景 : 内科医師退職及び内科診療体制強化のため
- 募集科目 : 一般内科診療可能であれば専門科目問わず
: 糖尿病内科経験あれば尚可
- 勤務時間 : 月～土 9:00～17:00
: 月～土のうち週5日勤務
- 休憩時間 : 60分
- 休日 : 週休2日
- オンコール : 原則なし※当直医からの問い合わせの可能性はあり
- 当直 : 月2～3回 なしも相談可能
- 勤務内容 : 病棟管理のみ
: 担当病棟 一般・地ケア・療養病棟管理
: 担当患者数：25～30名程度
: 担当制：主治医制
- 基本給与 : 1,500万円～2,000万円
: ※週5日勤務の場合 週4日の場合変動
- モデル年収
: 内科認定医 1,500万円程度
: 15年目 内科系専門医 週5日 1,800万程度
: 20年目 内科系指導医 週5日 2,000万程度
: 担当患者増加に伴うベースアップもしくは
: インセンティブ検討可能



募集要項

▼麻酔科

- 勤務開始

: 随時
- 募集背景

: 泌尿器科のオペ麻酔（年間500～600件）を
: 非常勤医師のみで回しているため、常勤医師を募集している。
- 募集科目

: 麻酔科（麻酔科専門医必須）
- 勤務時間

: 月～金 9:00～17:00
月～金のうち週3日並びにまたは週4日
- 休憩時間

: 60分
- 休日

: 週休2日以上
- オンコール

: なし
- 当直

: なし
- 勤務内容

: 手術麻酔・手術管理業務※ペイン外来は原則なし
オペ日 : 毎週月～木のうち、4日
年間500件程度（うち全身麻酔100件程度）
緊急オペ : 夜間の緊急オペなし 予定オペのみ
※ごくまれに日中即日オペあり
その他 : 疼痛コントロールに関するコンサルト（外来・入院）
- 基本給与

: 週3日 1,000万円～ 週4日1,500万円を上限で応相談



地域について

温暖な気候で住みやすく 福岡へのアクセスも良い

大分県中津市は福岡県との県境に位置する街で人口は8.5万人弱です。市街地では買い物など日々の生活に不便なく、瀬戸内気候区にあるため、天気や湿度が安定していて過ごしやすい環境です。
小倉駅まで「特急ソニック」で30分～40分と交通の便も良く福岡にも足を伸ばしやすい立地です。



ダイナミックな自然を体感

日本三大奇勝として知られ、日本新三景に選定され、名勝に指定されている耶馬溪はいつ行っても素晴らしい景観が広がります。青の洞門や競秀峰など見どころも多く、秋は紅葉の名所としても有名です。四季折々の景色や雄大な自然は都会では味わえない魅力です。



からあげの聖地

中津の魅力のもう一つは地魚、肉、野菜すべてが揃う「食」です。そのなかでも、「からあげの聖地」として有名な「中津からあげ」。ご当地グルメとして全国に知られる程人気の唐揚げですが、実際からあげ専門店がコンビニより多いという驚きの事実が中津にはあります。



歴史を肌で感じる中津城

築城当時の石垣が現存する九州最古の近世城郭で愛媛県の今治城、香川県の高松城と並ぶ日本三大水城のひとつです。
現在の天守は昭和39年に建設されたものです。城の中は享保2（1717）年から中津を治めた奥平家の資料館となっています。多くの観光客で賑わうだけでなく地元の人々の誇りにもなっています。



概要・アクセス

施設概要

名 称：医療法人 中津第一病院
住 所：〒871-0012 大分県中津市宮夫252番地の2
開 設：1975年3月
理 事 長：久下 亨（消化器外科（肝胆膵）／久留米大学／1993年卒）
病 院 長：藤野 隆之（血管外科／久留米大学／1985年卒）
救 急 指 定：指定なし※ただし二次救急輪番制あり
病 床 種 別：180床（一般病床126床・療養病床54床）
※現在 使用病床数 114床（一般地ケア60床・療養1：54床）
宿日直許可：取得済
診 療 科 目：内科・泌尿器科・麻酔科・リハビリテーション科・形成外科・外科
消化器外科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病内科
カ ル テ：電子カルテ
ア ク セ ス：JR日豊本線「中津駅」から車で7分
H P：https://www.nakatsu-daiichi.jp/

診療実績（2024年度）

1 日平均外来患者数 約136人
1 日平均入院患者数 85.1人（一般 15.8人、地ケア 31.4人 療養37.9人）
新規患者数 外来 77名／月、入院 38名／月
病床稼働 一般 55.7%、地ケア 72.1% 療養76.1%
平均在院日数 一般 8.4日、地ケア 21.8日 療養 339.9日
年間救急車搬送台数 38台（約 月3台）

医師、看護師体制（2024年4月現在）

医師 常勤 9名／非常勤 19名 ※大学派遣医師 9名 以上
看護師 正看護師 57名／准看護師 15名



沿革

1975年03月	医療扶助の為の医療を担当する医療機関に指定
1975年03月	【個人開設】中津老人病院（病床数86床）を開設 院長 江口 雄一郎就任
1982年04月	泌尿器科 標榜
1984年05月	一般154床から一般180床へ増床
1986年04月	中津老人病院から中津第一病院へ名称変更
1990年12月	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術 承認
1999年03月	療養型病床群61床の設置
2001年04月	日本泌尿器科学会より泌尿器科専門医教育施設に認定
2003年02月	病室25室54床・隣接廊下・階段・人工透析室等 使用許可
2003年03月	更生医療指定
2003年08月	病床種別許可病床数 一般126 療養54 計180床
2004年03月	厚生労働省より新医師臨床研修病院に指定
2008年12月	糖尿病内科、腎臓内科(人工透析)、消化器内科(内視鏡) 標榜
2011年11月	腹腔鏡下前立腺全摘除術の保険診療開始
2012年01月	法人設立 医療法人 中津第一病院となる
2014年04月	麻酔科 標榜
2014年07月	病理室（病理診断）設置
2015年08月	久留米大学関連病院認定
2016年08月	外科、消化器外科 標榜
2017年04月	院長に久下 亨 就任
2017年11月	形成外科 標榜
2020年10月	理事長に久下 亨 就任
2020年10月	院長に藤野 隆之 就任
2020年10月	居宅介護支援事業所つながるて開設
2021年06月	法人本部設置
2021年07月	新型コロナウイルス感染対策 屋外診察室・待合室設置
2022年09月	訪問看護ステーションゆいので開設
2023年07月	骨密度測定装置（B-Cube）設置



採用に関するお問い合わせ

株式会社Rakusai

田辺 健(タナベ タケシ)

MOBILE: 090-8563-4729

E-mail: rpo@rakusai-corp.jp